



競輪の補助事業

この事業は、競輪の補助により実施しています。  
<https://hojo.keirin-autorace.or.jp/>

< オリンピック・ムーブメント事業 >

# JOCオリンピック教室

## 実施報告書

広島県 福山市立広瀬学園中学校



公益財団法人 日本オリンピック委員会



## 「オリンピック教室」の実施にあたって

平成21年4月の学習指導要領から、中学校「保健体育 体育分野」及び高等学校「科目体育」における「体育理論」の領域で、文化としてのスポーツやオリンピック・ムーブメントの意義を学ぶことが示されました。中学校3年生では、「オリンピックや他の国際的なスポーツ大会などは、国際親善や世界平和に大きな役割を果たしている」現状を通して、オリンピックの意義を学習することになっています。そこで、JOCでは、中学校3年生の体育理論の学習に先がけ、その内容を事前に啓発する目的で中学校2年生を対象に、平成23年度から授業形式で行う「オリンピック教室」を実施してきました。

近代オリンピックの創始者ピエール・ド・クーベルタンは、人間本来の資質を高めるために、スポーツと文化と教育の側面を持つオリンピックの価値を広めることが相応しいと考え、オリンピック・ムーブメントを推進してきました。JOCもこの価値を若い世代に語り継ぐことは、極めて重要で大切な活動と考えております。日本代表としてオリンピックに出場した選手（オリンピック）は、その栄誉を自覚し、競技面だけでなく社会生活の上でも、模範となる行動が求められますが、オリンピックがその価値を直接生徒に伝えることで、日頃の授業では味わうことの出来ない感動が生まれることが期待されます。

「オリンピック教室」の授業では、教師役のオリンピックが、オリンピック大会出場に至るまで、あるいは、実際にオリンピック大会に出場して得た貴重な経験等を通して、「エクセレンス」、「フレンドシップ」、「リスペクト」、「努力から得られる喜び」、「フェアプレー」、「他者への敬意」といったオリンピックの価値（バリュー）等を伝えます。同時に、この価値がオリンピックに出場した選手だけのものではなく、多くの人々が共有し日常生活にも活かすことのできるものであること、さらに、こうした考え方があるからこそオリンピックに価値があることを生徒自身が学ぶこともねらいとしております。

平成29年3月公示の新学習指導要領では、新しい時代に求められる資質や能力を子供たちに育むために、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業の工夫や改善が求められています。「オリンピック教室」でのふれあいの中での学びが、教科の枠を越え、これからの社会や人生に活かせる資質や能力を育む一助になることを期待しております。また、この授業を通して、生徒の皆さんが、運動やスポーツが好きになり、生涯にわたり豊かなスポーツライフの実現につながることも願っています。

令和5年4月

公益財団法人 日本オリンピック委員会

- 目的： オリンピアン（オリンピック出場経験アスリート）が教師役となり、  
オリンピック自身の様々な経験を通して  
「オリンピズム」や「オリンピックの価値」等を伝えると同時に、  
この価値はオリンピックだけのものではなく、多くの人々が共有し、  
日常生活にも活かすことの出来るものであることを授業を通して学習してもらう。
- 事業名： JOCオリンピック教室
- 主催： 公益財団法人日本オリンピック委員会(JOC)
- 後援： スポーツ庁
- 協力： 公益財団法人JKA、開催地自治体及び同教育委員会
- 対象： 中学2年生
- 講師： オリンピアン（オリンピック出場経験アスリート）※派遣オリンピックはJOCが選定
- 期間： 2023年4月～2024年3月 ※原則、平日開催
- 実施校数： 80校程度
- 実施方法： クラス単位を基本とし、2コマで1セットの授業

## 1コマ目 運動の時間 / 50分

身体を動かしながら生徒との距離を縮め、  
チームワーク、フェアプレー、身体を動かす  
ことの楽しさ等を感じてもらいます。



## 2コマ目 座学の時間 / 50分

競技者人生を振り返り、自身が感じた  
オリンピックの価値を生徒に伝え、  
オリンピックをより身近に感じてもらいます。



## 1コマ目

## 運動の時間 / 50分

オリンピックの専門競技の技術指導(=スポーツ教室)ではなく、  
運動が苦手な生徒も参加できるように工夫されたもの

挨拶(5分)

準備体操(10分)

主運動(30分)

まとめ(5分)



自己紹介  
学習内容の確認



準備体操



主運動  
(作戦タイム等を設け、  
生徒が考える機会を作る)



運動の時間のまとめ

## 2コマ目

## 座学の時間 / 50分

国際オリンピック委員会(IOC)が推進する「オリンピックの価値」等を、オリンピックがオリンピック競技大会出場に至るまで、あるいは実際にオリンピック競技大会に出場した経験等を通して、分かり易く伝えると同時に、生徒自身が自分ごととして捉え、今後に活かせるような学習内容

挨拶・自己紹介(10分)

オリンピックの価値を伝える(10分)

グループワーク(20分)

まとめ(10分)



学習内容の確認



写真・映像等を使用  
した自己紹介



オリンピック自身の経験  
に基づく「オリンピック  
の価値」等を伝える



個人またはグループ  
ワークで話し合った内  
容を発表



全体のまとめ  
記念撮影(クラス写真)

※時間は目安です。  
※内容はオリンピックによって変動する場合があります。

### ●時間割について

- ・1クラスにつき、運動の時間+座学の時間の順に、2時間連続で実施します。
- ・1コマ目の運動の時間は体育館で、2コマ目の座学の時間は当該クラスの教室で行います。
- ・原則1クラスの場合は3-4時限目、2クラスの場合は3-6時限目、3クラスの場合は1-6時限目の調整となります。
- ・1日に実施できるクラス数は最大3クラスまでです。4クラス以上実施する場合は2日間以上の調整となります。
- ・同じ時間に複数クラスを実施することはできません。

■ **オリンピック**：坂本 清美 先生 (バレーボール) 【出場オリンピック／アトランタ1996大会】

■ **期 日**：2023年6月21日(水)

■ **ク ラ ス**：全学年合同／運動の時間

○自己紹介～授業の目的確認～準備体操



●バレーボールの日本代表として、アトランタ1996大会に出場したと自己紹介。オリンピックバリューについて、エクセレンス：「卓越」「様々なことに挑戦し、全力で取り組む」「失敗を恐れずに頑張る」、フレンドシップ：「友情」「チームワーク」「コミュニケーションを取る」、リスペクト：「敬意/尊重」「思いやり」「感謝」と紹介。今日の授業では、皆と一緒に楽しみながら、オリンピックバリューを伝えたい。運動の時間は、オリンピックバリューを意識して積極的に取り組もうと伝える。

○主運動等



●準備運動は、バレーボールを使用した運動を実施。1人1球ボールを持ち、ボールを高く上げキャッチするまで何回拍手できるかや、2人組でボールを既に持っている相手にボールを投げ、ボールの上で2球目をキャッチする等に挑戦した。  
●主運動は、「円陣パス」を実施(全3回)。班毎に円を作り、2分間で連続して何回パスできるかを競う。ボールを落とした場合、再度円を作り、最初から数え直す。2回目以降は、同じ人が連続で2回までパスできるルールで実施。各回開始前に作戦タイムを設けた。



●主運動終了後、パスの回数が大幅に伸びた班に、どのように工夫したかを問い掛けると、「次の人が取りやすいところにパスを出した」、「パスを出す際に名前を呼んでパスをつなぎやすくした」等の発表があった。運動の時間では、どの班も、オリンピックバリューをしっかりと意識しながら、一生懸命仲間と協力し、お互いを思いやることができていたので素晴らしい。座学の時間では、運動の時間で感じたオリンピックバリューを踏まえ、皆で一緒により深く考えたいと伝え、授業終了。

■ **オリンピック**：坂本 清美 先生 (バレーボール) 【出場オリンピック／アトランタ1996大会】

■ **期 日**：2023年6月21日(水)

■ **ク ラ ス**：全学年合同／運動の時間

○自己紹介～授業の目的確認～オリンピックの価値を伝える



・アトランタ1996大会にバレーボールで出場したと自己紹介。バレーボールは、アタックやサーブで得点が入るが、試合に出ている選手達は、身長等、自分の特徴を生かした得意なポジションを守り、他のポジションの仲間と協力しながら行う競技だと説明。小学校の時、楽しそうだったことからバレーボールを始め、中学校3年生の時、本格的に頑張りたいと自分の意志を親に伝えた。母からの励ましにより、諦めずに努力を続けることで日本代表に選ばれ、オリンピック出場を果たした。

○個人ワーク～グループワーク等



発問：運動会を振り返って3つのオリンピックバリューに当てはめて考えてみよう。

発表：エクセレンス：「競技の準備に皆で全力で取り組んだ」「最後まで頑張った」「ベストを尽くした」等

フレンドシップ：「仲間と協力をした」「思いやりを持ってプレーをした」「できないことは助け合う」等

リスペクト：「地域の人がいいろいろと準備を進めてくれた」「めちゃくちゃ応援をした」「ルールを守ってできた」等



・グループワークでは、皆でオリンピックバリューについて意見を出し合い、どの班も今日の授業を楽しみながら全力で取り組んでいたのが嬉しい。引退後、自分の競技人生の中にたくさん存在していたオリンピックバリューの大切さに改めて気づくことができた。皆は今日の授業を通して、既にオリンピックバリューの大切さを知ることができたので、今日学んだことを活かして、今後も充実した学校生活を送り、目標を見つけたら失敗を恐れずに、一生懸命頑張ってほしいと伝え、授業終了。

■集合写真



■記念品贈呈



■修了証贈呈

